

ティザームービー公開中！  
詳しくは公式サイトを  
ご覧ください



[https://nijigennomori.com/godzilla\\_awaji](https://nijigennomori.com/godzilla_awaji)

# ゴジラ、淡路島沖に生息か

## — NIGOD見解示す資料公開 —

# 巨大生物はゴジラか!?

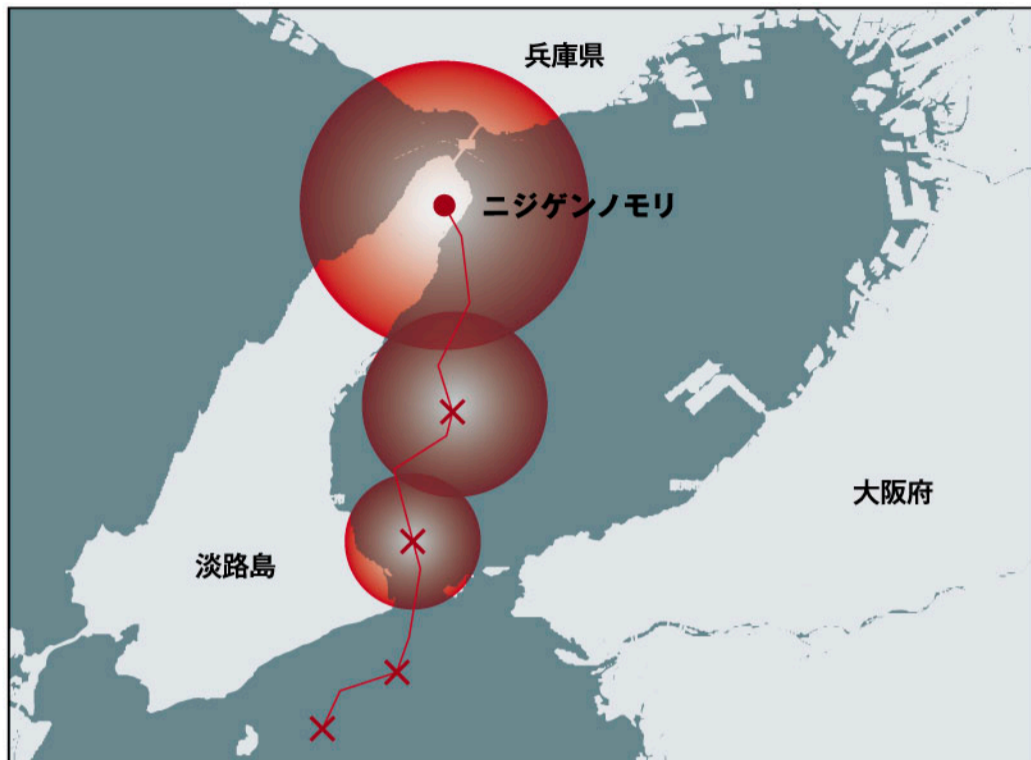
## 一年以内に出現の可能性

政府は明治時代に出現した巨大生物「呉靱羅(ゴジラ)」に関する研究機関「NIGOD (National Awaji-Island Institute of Godzilla Disaster=国立ゴジラ淡路島研究センター)」の存在を公式に発表するとともに、同機関に

よる観測の結果、「ゴジラ」に極めて近い生物が、兵庫県淡路島近海に存在すると発表した。報告書によれば、「ゴジラ」の存在を示唆する兆候は2019年8月ごろから観測されたとあり、NIGODは急遽淡路島に観測

所を設置し、調査を開始した。そして10月初頭には「ゴジラ」に酷似した何ものかが存在する可能性が極めて高く、その出現は一年以内との結論に達したため、本日の発表に至った。NIGODの報告によると、現時点に於いて、「ゴジラ」は海中から上陸するまでの器官や機能を持たない状態である可能性が高いが、政府は伝承によるゴジラ特有の急激な進化や凶暴性に備え、ただちに対策本部を設置し、NIGODの専門部隊の派遣を決定。近隣住民の避難を最優先に、迎撃や駆除を視野に入れた対処に当たることも併せて発表した。

これに伴い海域や空域の航行禁止等の交通規制も決定しており、こちらも年内にはその封鎖に関する概要が政府より発表される見込みとなっている。発表を行った内閣官房長官は「官民一丸となって事態の対処に当たりたい。必要ならば諸外国への協力の要請も視野に入れている」とコメントした。



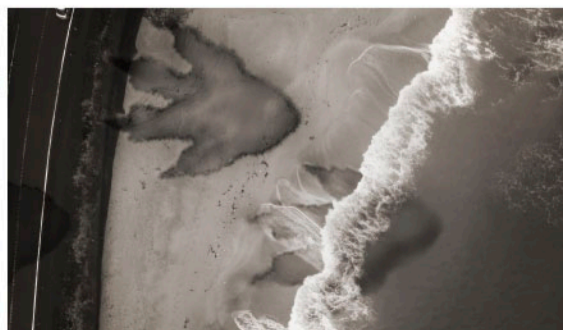
NIGODにより公開されたゴジラ移動経路予想図

既に該当水域での漁業等は停止されており、今後は近隣住民の避難は年内開始を目標とし、現在自治体との協議が進められている。



明治時代に上陸した「ゴジラ」に関する資料

**【解説】NIGOD**  
(National Awaji-Island Institute of Godzilla Disaster=国立ゴジラ淡路島研究センター)  
とは、明治時代に上陸した巨大生物「ゴジラ」に関する全ての資料の収集・保存から、「ゴジラ」の再上陸に備えた研究と、駆除を前提とした対策のための旧陸軍の流れを汲む国立研究機関である。本組織は長らくその存在が秘匿されてきた



明治時代「ゴジラ」の足跡が発見された海岸沿い

また、本件に於ける官民を超えた指揮を執ることも併せて発表となった。

が、今回淡路島近海に於ける出現の兆候が明らかになったことから、正式にその存在が公開されることとなった。





# ゴジラ迎撃作戦

Godzilla Interception Operation Awaji

国立ゴジラ淡路島研究センター

National Awaji-Island Institute of Godzilla Disaster

